

平成31年度 港区立南山小学校学校経営方針 ～どの子も伸びる 学びの南山小～「世界にはばたく人づくり」「地域とともに歩む学校づくり」

東京都教育委員会教育目標
港区教育委員会教育目標

次期学習指導要領改訂の趣旨
港区教育ビジョン

◎目指す学校像

- ・子ども一人一人が学力・体力を身に付ける学校
- ・子ども一人一人に居場所がある学校
- ・組織の力で課題解決を図る学校
- ・保護者と地域から信頼される学校
- ・教職員が互いに学び合い、高め合う学校

◎目指す子供像

- ・自ら学び、考え、判断できる子
- ・友達との関わりながら学ぶ子
- ・自他の生命を尊重し、思いやりのある子
- ・進んで運動し、親しむことができる子
- ・学校や地域を愛し、他者と豊かにかかわる子

◎目指す教師像

- ・公教育を担う教師の誇りと自覚、研ぎ澄まされた人権感覚を有する教師
- ・愛情と熱意にあふれ、常に児童理解に努める教師
- ・高い専門性と豊かな人間性を備えた学び続ける教師

児童の実態

地域の特色

保護者や地域の期待・ニーズ

教育目標： じょうぶで明るい子 よく考え最後までやりぬく子 友だちとなかよく協力する子

徳

友だちとなかよく協力

知

よく考え最後までやりぬく

体

じょうぶで明るく

○よりよい人間関係を築く学級経営、専科経営

- ・授業を通した「認め合う」仲間づくり
- ・異学年との交流
- ・特別活動の充実（宿泊行事、委員会・クラブ、交流給食）

○いじめをしない・させない・ゆるさない

- ・差別と偏見を許さない一貫した指導
- ・特別の教科 道徳の重視と心を育てる体験活動
- ・いじめの未然防止と早期発見、早期対応を重視

○豊かな人間関係の醸成

- ・「あいさつ」や「返事」の指導
- ・国際学級との交流
- ・六本木アカデミーの充実
- ・人材資源の活用と多様な体験（大使館、租税教室など）
- ・地域の方との交流（まちたんけん、地域学習、職場体験など）

○情報モラル教育の推進

- ・学校、家庭におけるSNSルールの確立と実行

特別支援教育の推進

○特別支援学級での指導の充実

- ・一人一人の障害の状態や発達に応じた指導の充実
- ・共同及び交流学習の促進

○「つながり」と「安心」の重視

- ・特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員・巡回指導員・巡回心理士、学習支援員と通常の学級との連携
- ・学校生活支援シートの活用と適切な支援体制

○児童主体の学習展開と達成感や成就感を得る

- ・興味や関心、意欲をもち、自ら課題解決
- ・地域を生かした学習の充実

○分かる喜びと楽しさを実感する学び

- ・思考力、判断力、表現力を重視した授業
- ・自分の考えをもち、考えを互いに広げられる学習場面の設定（課題解決→自力解決→交流→自己解決）
- ・体験できる教育活動の工夫
- ・ICT機器の活用
- ・学ぶ楽しさを感じられる学習評価

○一人一人の学習状況に応じた指導の充実

- ・東京方式 一単位時間の授業スタイルと習熟度別指導ガイドライン 東京ベーシックドリルの活用
- ・人的支援を活用した指導の工夫

○運動に親しみ 運動を楽しむ活動と授業

- ・「わかる」「できる」体育科指導の授業改善
- ・持久力、瞬発力など体力アップタイムの継続的な取組
- ・体力テストの実施と結果の活用
- ・アスリートとの交流 アスリートによる授業
- ・ボランティアマインド

○健康教育の推進

- ・薬物乱用防止教室、食育などの実施

○危険の予測と危機回避能力の育成

- ・安全教育の推進（3.11を忘れない集会 交通安全教室、地域防災訓練など）
- ・保健学習、保健指導、セーフティ教室などの実施

オリンピック・パラリンピック教育

国際理解教育

- 英語を用いたコミュニケーション能力の育成
- 伝統文化に触れる、体験する場や機会（染小紋、和作法、茶道、百人一首、和楽器体験）
- オリンピック・パラリンピアンとの交流
- 地域及び企業等と連携した教育活動

組織的な教職員集団
家庭・地域との連携・協働
「チーム南山」